

# 農作業中の**事故**を防ごう

## ◆ 農作業中の死亡事故ゼロをめざしましょう！！

本県の農作業中の死亡事故は、これまで全国上位の発生でしたが、平成27年以降年々減少しています。

農作業の際は、安全点検・安全確認を行い、無理のない落ちついた行動を心掛けることで、**尊い命が失われることが無いよう、農作業死亡事故ゼロをめざしましょう！！**

表1 農作業事故死亡件数の推移(単位：件)

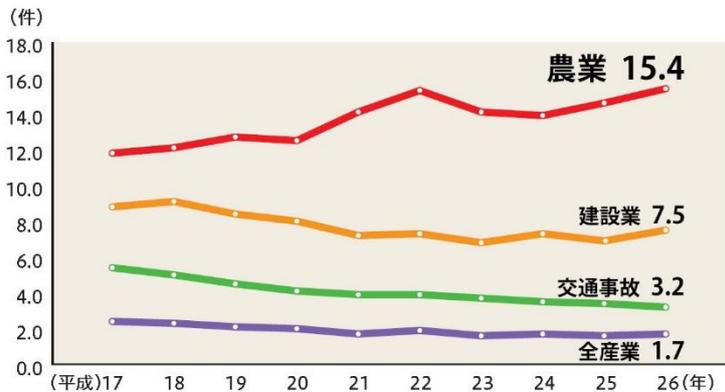
年	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30※
全国	374	408	398	366	350	350	350	338	312	304	-
熊本県	23	15	14	9	14	15	18	25	17	9	5
(全国順位)	(1)	(9)	(6)	(16)	(5)	(3)	(3)	(1)	(2)	(14)	(-)
65歳以上	77%	73%	86%	89%	93%	73%	83%	84%	83%	100%	80%
農機による	65%	87%	79%	67%	71%	80%	72%	68%	82%	33%	80%

※H30は県調査結果

## ◆ 農作業死亡事故は、一般の交通事故より**5倍多い!!**

農作業中の事故で亡くなる農業者は、毎年、全国で300人程度います。これは、貴重な農業の担い手が毎日1人亡くなっている状況と言えます。

この発生件数を一般の交通事故の死亡者数と比較すると、農作業中の死亡者数はその約5倍に達します(図1)。このことから、農作業には多くの危険がひそんでいることがわかります。



### ※グラフの見方

「農業」は、農業者10万人当たりの農作業中の死亡事故件数。「交通事故」は、国民10万人当たりの交通事故死亡件数。

図1 10万人当たり死亡事故件数の推移(出典：農林水産省資料より)

## ◆ 農作業死亡事故は**65歳以上**の方に多く、**農業機械**によるものが多い!!

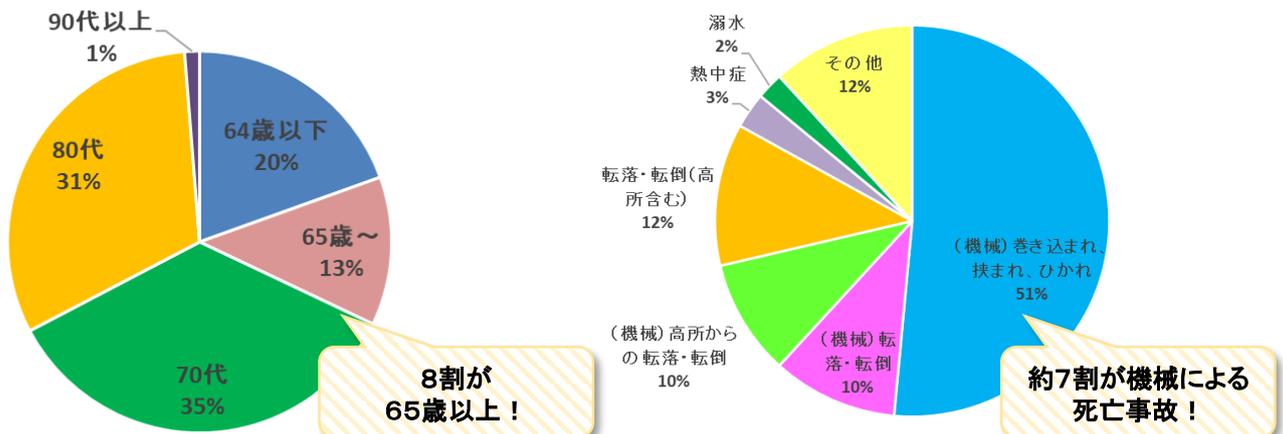
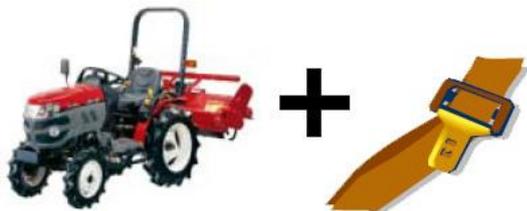


図2 熊本県における農作業死亡事故の年齢構成と事故内容(H20~H29)

# 農作業事故を起こさない安全対策のポイント

安全キャブ・フレームのある  
トラクターを使用し、  
シートベルト着用を徹底しましょう。

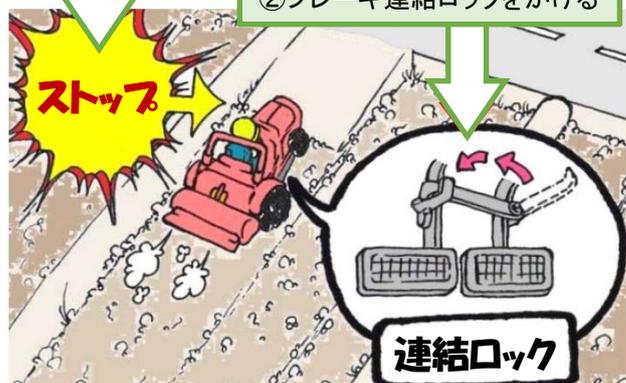


安全キャブ・フレーム	合計 (%)	うち死亡 (%)	うち負傷 (%)
なし	35 (100)	33 (94)	2 (6)
あり	17 (100)	8 (47)	9 (53)

トラクターで耕起が終わったら、  
ブレーキの連結ロックをかけましょう。

①終了直前に昇降路の手前で一時停止する

②ブレーキ連結ロックをかける



農道の路肩など、  
危険が潜む場所は  
草刈で見通しを  
良くしておきましょう。

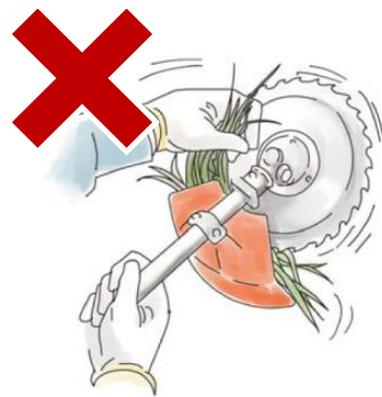


刈払機を使用するときは  
身体の防護を確実に！



身体の防護は確実に(フェースガード、手袋、靴、脛当て)。飛散防止カバーは外さない。

詰まった草を取る時は、  
必ずエンジン停止！



詰まった草を除く場合は、エンジンを止める。エンジン回転を落としただけでは危険。

尊い命を  
守るために、  
家族や組織の  
みんなで  
声を掛けあい、  
安全な農作業を  
心掛けましょう。

機械のメンテナンスや詰まり除去の際は、  
必ずエンジンを止めてから行いましょう。

